

砥部町立図書館コンピュータシステム貸借及び保守管理業務に係る
契約相手の特定結果について

1 業務の概要

- (1) 名称 砥部町立図書館コンピュータシステム貸借及び保守管理業務
- (2) 所管 砥部町教育委員会社会教育課（愛媛県伊予郡砥部町宮内 1369 番地）
- (3) 目的 令和元年に導入した図書館システム用機器の更新に合わせて図書館システムを最新版に更新する。町民の方への図書館サービスの一層の充実を図るべく、日々進展しつつある情報技術革新の成果等を積極的に取り組み、利用者への利便性の向上や情報提供の拡大を図ることを目的とする。

2 募集の概要

- (1) 募集方式 公募型プロポーザル方式
- (2) 応募受付期間 令和 7 年 4 月 16 日～30 日
- (3) 応募者 1 者

3 審査の概要と結果

砥部町立図書館コンピュータシステム貸借及び保守管理業務プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）において、次のとおり審査を行いました。

(1) 審査委員会の委員

大江 章吾（教育長）
山本 勝彦（社会教育課長）
上本 隆弘（社会教育課長補佐）
小中 学（企画財政課長）
石村 由紀（砥部町立図書館長）

(2) 審査の経過

- ① 審査委員会開催日 令和 7 年 5 月 28 日
- ② 企画提案者 1 者
- ③ 審査方法等について
 - ・ 提案者から企画提案のプレゼンテーションを受けた後、審査員との質疑応答を行いました。
 - ・ 質疑応答の後、砥部町立図書館コンピュータシステム貸借及び保守管理業務公募型プロポーザル実施要領（以下「要領」という。）で定めた評価基準により、審査員がそれぞれ 1. プレゼンテーション・ヒアリング評価の評価項目について採点を行いました。また、要件評価及び価格評価についても、要領の評価基準により算定を行いました。

④ 評価の基準及び配点

1. プレゼンテーション・ヒアリング評価

評価項目	評価の視点	配点
提案内容（全体）	事業の目的に即した効果（図書館利用者及び管理者の利便性、操作性、正確性の向上）が得られる提案となっているか。	100点
業務実績	図書館運用業務を総合的に支援するシステムの実績が十分にあるか。	50点
業務スケジュール	令和7年10月1日に使用開始することを踏まえ、作業例、作業分担や作業工数は具体的で現実的なものか。日程管理ができているか。	50点
サポート体制 （ヘルプデスク・研修）	ヘルプデスク等のサポート体制は、有用な提案が具体的に示されているか。ヘルプデスクにおいて対応品質を向上させるための取組は実施されているか。職員に対する研修は、十分に考えられているか。	100点
運用・保守に関する事項	システムの運用・保守に必要な体制や内容について、有用な提案が具体的に示されているか。保守の範囲や不具合が発生した際の対応について、有用な提案が示されているか。	100点
セキュリティ対策及び信頼性の確保についての考え方や対応	システムの安全性を確保するための対策について、有用な提案が具体的に示されているか。	50点
その他の提案	その他、本町にとって有益で具体性のある提案があるか。	50点
小 計		500点

2. 要件評価

評価項目	評価の視点	配点
機能要件書	標準機能、カスタマイズ提供、対応不可の別	250点

3. 価格評価

評価項目	評価の視点	配点
参考見積価格	250点×参加者の中で最低の参考見積金額÷当該参加者の参考見積金額 ※小数点以下切り捨て	250点

合 計		1000点
-----	--	-------

(3) 審査委員会における審査結果

順位	参加者	点数合計	備考
1	扶桑電通株式会社 四国支店	876 点	契約相手

※ 最高点 1,000 点、一定の水準 600 点

※ 点数は本案件の提案に対する結果であって、当該参加者の評価を示すものではありません。

4 契約相手の特定

町は、審査委員会における審査結果が適切であると認め、総合的に判断し、砥部町立図書館コンピュータシステム賃貸借及び保守管理業務に係る契約相手を特定しました。

契約相手 扶桑電通株式会社 四国支店 執行役員支店長 田口 譲
香川県高松市天神前 10 番 1 号